

竜ヶ森山開き (6月1日)

比内地域と北秋田市鷹巣地域の境界にまたがる竜ヶ森(標高1049・8m)の山開きが行われ、初夏の好天の中、比内コースから北秋田側の参加者を含めた愛好者約150人が山頂を目指しました。



ブナ林の木漏れ目を浴びて

今年は雪解けが遅く、4合目を過ぎたあたりから残雪が出現。中腹では、ブナの原生林が愛好者を歓迎するかのように、木漏れ日と緑のシャワーでお迎え。その美しい景観は、愛好者の疲れを癒しているようでした。山頂では神事を行い、シーズンの安全を祈願しました。

田んぼアート (6月5日)

晴天に恵まれ行われたのは「古代米による田んぼアート」。本場大館きりたんぼまつりin大館樹海ドームのPRイベントとして、長木小学校の6年生41人と教諭、地域住民が田植えを行いました。



出来上がりが楽しみ

見ごろは7月下旬から9月上旬まで、まつりの日に刈り取る予定。児童たちは泥まみれになりながら、一本一本丁寧に手植えを行っていました。

田代名産たけのこ祭り (6月10日)

第26回田代名産たけのこ祭りが田代多目的運動広場を会場に開催されました。

小雨混じりの天気にもかかわらず、市内外から大勢の家族連れや団体が訪れ、旬の生たけのこを買い求めたり、たけのこ汁に舌鼓を打ったりしていました。

開会の10時には既に生たけのこことたけのこ汁の販売ブースには長蛇の列。生たけのこは、用意した1・2kg入り160袋が約30分で完売の盛況ぶりでした。

このほか、会場では恒例の「たけのこ汁早食い競争」や「生たけのこ皮むき競争」が繰り広げられ、観戦していたお客さんも、大きな声援と笑い声で会場を盛り上げていました。



怪人「カマドキャシー」も早食いにチャレンジ!



大ボリュームのたけのこ汁

各地区で運動会 (6月10日)

6月は、市内各地区の運動会シーズン。この日、長木地区では樹海ドームを会場に、子どもからお年寄りまで地区の住民約400人が参加し、心地よい汗を流しました。

各地区で趣向を凝らした種目があるのが地区運動会の特徴。大きなパンツに2人入り、お玉でボールを運びリレーする「デカパン・お玉リレー」などのほか、恒例の綱引きでは大きな声援が上がっていました。



力の入った綱引き

ウォーキングデー大館大会 (6月16日)

第12回ウォーキングデー大館大会が岩神ふれあいの森で開催され、6歳〜80歳の市民約100人がウォーキングを楽しみました。

参加者は初夏の日差しの中、心と体の健康づくりのため、岩神貯水池を周回する約4kmのコースを周り、景色と会話を楽しみながら笑顔で歩きました。



「ゴール目指して頑張るぞ!」